

# 家族で 子育て Q&A 23



**Q** 忘れ物をしたり、テレビに夢中で学校に遅刻したりの小  
学2年生。親は叱ってばかりですが、どうすれば？

**A** まだまだ手をかけたい年齢です。そうしても過保護では  
なく、むしろ心の安定や、やる気につながります。

## 「つ」が付く年齢まで

「這えば立て、立てば歩めの  
親心」といって、親は子供の成  
長を待ちわびるものですが、幼  
児期には手塩にかけて育てるこ  
とが大事です。早く自立させよ  
うと思つて、突き放すようにし  
ても子供は自立しません。親に  
手を添えてもらい、十分に面倒  
を見てもらった子供ほど、結果  
的に早く自立するようになるも  
のです。

小学2年だと生まれてまだ7  
〜8年ですから、苦手なことは  
親に頼つてもいいよ、という関  
係が大切です。9つまでは、そ

うしても過保護にはなりません。

「学校は楽しかった?」「何を  
勉強したの?」と関心をもつて  
聞いてあげると、子供も喜んで  
答えてくれます。低学年のうち  
は、少しの間でも親が勉強を  
見てあげたり、翌日の用意を一  
緒にやっつてあげたりするとい  
いでしょう。

子供の性格に合わせて、小言  
を減らし、じつと待つてあげま  
しょう。そのうち親に頼らない  
で、「自分でやる」と言い出す  
ようになるでしょう。

## 朝は親子共に気分よく

子供が親にしてほしいことを

親がしてあげても、子供を甘や  
かすことにはなりません。

親は子供のいうことを聞いて  
あげているようで、忙しさに  
まけて先延ばしにしたりしてい  
るものです。遠慮のない子は、  
しつこく親に催促してきますか  
ら問題ないのですが、大人しい  
子は、親に「あとからね」と言  
われると、気持ちを抑えるよう  
になるかもしれません。

朝は元気よく送り出してあげ  
ましょう。学校で友達と遊ぶの  
が楽しみだと、子供はごはんを  
さつと食べて駆け出しますよね。  
そうなるよう、生活の中身を工  
夫してあげたいものです。